

国際儀礼の基本講座 ～その2～

平成22年2月
地方連携推進室 杉田明子

Q レセプションとはどのような行事ですか。

A 【ワンポイント・アドバイス】レセプションは、日中または夕刻、1時間から2時間程度にわたって行われる立食形式のパーティーです。

【解説】パーティーには、レセプション、ドリンクス、ビュッフェディナー、晚餐、午餐などさまざまな種類があります。ここでは、レセプションをご紹介します。

レセプションとは、立食形式の行事であり、通常ホスト（および主賓）が会場入り口で客を出迎える「立礼（レシービング・ライン）」を行います。ただし、レシービング・ラインを設けないレセプションも増えてきました。

客の規模やサーブする飲み物や食べ物の内容は自由です。

挨拶、乾杯や音楽などのアトラクションはあっても無くても構いません。

ここでは典型的なレセプションの流れの一例をご紹介します。

XX時 レセプション開始

○客に飲み物をサーブします。挨拶などがある場合には、飲み物のみをサーブして、挨拶などが終了するまでテーブルの上の食べ物はカバーをかけておきます。

○オードブルやフィンガーフードをボーイがトレイにのせて客の間を回ってサーブすることもあります。

XX時20分頃（集客状況を見て）

主催者による 挨拶

主賓による 挨拶

（引き続き、歓談。あれば、音楽プログラムなど）

○挨拶は短く。逐次通訳がある場合、挨拶の時間はさらに長くなります。

○日本では乾杯の挨拶を別に行うことが多いですが、欧米式の挨拶では乾杯は挨拶の中で一緒に行います。

XXI 時 レセプション終了

○終了のアナウンスは行いません。ただし会場のライトを短く点滅させて終了を知らせることはあります。

○レセプション終了時に主催者が会場出口で客を見送る必要はありませんが、規模の大きな公式レセプションで、多くの客が主催者に挨拶を行うため、結果として見送りのラインが形成されることがあります。